

佐賀県鹿島市

世界最高権威IWCでの受賞をはじめ、国内外の数々のコンクールで高い評価

元禄元年創業の酒造会社で300年以上の歴史を有し、多くの杜氏を輩出し、地元では“光武学校”とも呼ばれる。吟醸酒部門は、世界最高権威と評価されるコンペティションIWC（インターナショナル・ワイン・チャレンジ）でのゴールドメダル受賞をはじめ、国内外の数々のコンクールで高い評価を得ている。20年程前から手掛け始めた焼酎も、モンドセレクション、全国酒類コンクール等においても長年にわたり受賞している。

●所在地	佐賀県鹿島市浜町乙2421	●設立	1688年
●電話/FAX	0954-62-3033/0954-62-3075	●資本金	300万円
●URL	http://www.kinpa.jp/	●従業員数	58人
●代表者	代表社員 光武 博之		



“SAKE” とアニメでクールジャパンを輸出

平成25年に当社初の輸出案件としてタイへ輸出。現在は東南アジア・インド・ヨーロッパなど15か国と取引中。当初は年間150万円程度の売上であったが、積極的に商談会等に出展した結果、当初の45倍以上の約7千万円にまで増加した。海外の顧客には焼酎よりも日本酒が好まれる傾向にあるが、今回のアニメと焼酎とのコラボにより海外の焼酎販売のテコ入れが期待される。



アニメと焼酎とのコラボ

まちの資源が自社の資源～観光振興とビジネスの両立～

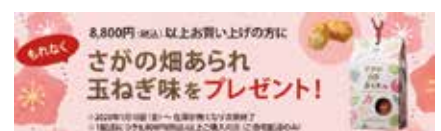
同社が位置する肥前浜宿の通称“酒蔵通”は、江戸時代から醸造業を中心に発展した地域で、国の「重伝建地区」にも指定されている。近年衰退していた酒蔵通りに往時の賑わいを取り戻そうと、同社もまちおこしに取組む。2012年には酒蔵通りをメイン会場に、同社も含めた地元酒造場6蔵が一斉に蔵開きを行い、新酒の完成を祝うイベント「酒蔵ツーリズム」を開催。地元商店街や行政も巻き込んだ一大イベントとなり、2019年には鹿島市人口の3倍以上にあたる約9万9千人が来場。自社ブランドの発信と地域活性化の両立に成功。



酒蔵ツーリズム

酒造りのその先へ～六次産業化による付加価値創造～

関連会社である(株)峰松酒造を通して、地元佐賀で良質な米を生産している農業法人とタッグを組み、せんべいやあられ、米糠を使ったバウムクーヘンなどの加工品を開発。それを酒蔵通りの店舗だけでなくオンラインショップで全国に向け販売している。一次産品に価値をつけ販売する、地方創生の王道ともいえる取組だが、当社の特色は「巻込力」といえる。地元金融機関やコンサルによる出資・支援を取付け、全国初の「日本酒を事例とした六次産業化ファンド」の事例が完成。



佐賀の米の加工品（あられ）の開発・販売